



### 国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに、患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。



### 宮崎東病院の基本理念

「主役は病める人」をモットーとして患者さんの人権を尊重し、良質かつ高水準の医療を提供します。

## 目次

1. 巻頭言：院長就任のご挨拶
2. 副院長就任のご挨拶
3. 事務部長就任のご挨拶
4. 医師紹介
5. 退任のご挨拶
6. MRT「おしえて！みやざき」に出演して
7. 編集後記

## 巻頭言

### 院長就任のご挨拶

令和4年4月1日より宮崎東病院の院長を拝命しました。昨年度はコロナ禍のなかで、特命副院長としてコロナの入院、外来診療とワクチン接種を担当し、職員一丸となって対応し、診療においても院内感染対策においても大きな実績をあげることができました。関連された職員の皆様にあらためて感謝致します。第7波という声も聞かれなかなかな終息は見通せませんが、その後の診療態勢について模索を続けたいと思います。

令和2、3年度を振り返りますと、コロナの影響を強く受けて一般の入院、外来患者が減少し医業収支が大きく悪化しました。一方、2階病棟を全てコロナ対応として専用病床化したことで、空床補填をいただいたため経常収支は大きく黒字となりました。社会と時代の要請を受けて大きく舵を切った結果であり、黒字化については皆さんと一緒に胸を張ります。ただし長期的には人口減少、少子・高齢化により医療需要が先細ると懸念されるなか、病床をさらに削減してはどうかという天の声も聞こえるので、一般の患者数の回復が喫緊の課題となります。

長年にわたり医局の医師がほとんど交替せず、そのまま高齢化する状況がありましたが、この数年は呼吸器内科や脳神経内科に若手の先生が着任され、今年度は松元信弘呼吸器内科医長、森浩貴呼吸器外科医師を迎えることができました。塩屋前院長に引き続き医師の獲得と若返りを第2の使命として頑張ります。脈のある先生がおられればお知らせください。

今年度は外来棟とサービス棟の改修工事があり、電子カルテの更新も準備します。衛生設備の改善や休憩室の増設、遅くて使いづらいカルテ環境の解消などで皆さんの職場環境の改善に努力します。

大きな災害や戦争が新たに起こらないことを祈りながら、地域住民や近隣の医療機関から信頼され、愛される宮崎東病院を守り育てるため皆さんのご協力をよろしく願います。



院長  
伊井 敏彦

令和4年 4月新院長 伊井敏彦

# 就任・着任のご挨拶～これからよろしくお願ひします～

## 副院長就任のご挨拶

この度、宮崎東病院副院長を拝命いたしました石山です。この場をお借りし、ご挨拶をさせていただきます。

旧宮崎医科大学第一内科(現宮崎大学医学部循環器・腎臓内科学分野)出身で、2004年4月に当院に赴任いたしました。生活習慣病をはじめとする一般内科を担当し、歴代院長の下で18年勤務してきました。医師としてのキャリアの半分以上を当院で過ごしたことになります。今回、副院長の任を担うこととなり、その重責に緊張の日々が続いております。長年の経験勤務を生かし、今後は病院管理にも携わることで、宮崎東病院に恩返しできればと考えております。

塩屋名誉院長、枝川前副院長が残された遺産を大切にし、患者さんに満足される医療を提供すること、また病院の発展ために尽力するつもりです。そのためには地域の医療機関の先生方との良好な信頼関係の維持、また院内においては各部署間の意思疎通を活発化して働きやすい職場環境を作ることが重要だと考えております。皆様からの変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。



副院長  
石山 雄一郎

## 事務部長着任のご挨拶

4月1日付で沖縄から参りました事務部長の池間です。どうぞよろしくお願ひします。

宮崎県内の勤務は初めてですが、宮崎東病院には何人か顔見知りの職員もおり、また、職員の皆さんが常にこやかに挨拶をしてくれるおかげで、すんなりと溶け込む事ができました。

さて、宮崎東病院は新型コロナウイルス感染症発生当初から、積極的に新型コロナウイルス患者の受け入れを行い、宮崎県の新型コロナウイルス感染症対策の中心的な役割を担い貢献してきたところです。一方で受療行動等の変化もあり、新型コロナウイルス患者以外の入院患者数は減少しており、令和2年度及び令和3年度の医業収支は厳しい状況となっているところです。

新型コロナウイルス感染症の収束は、まだ不明なところですが、まずは、収束後の病院経営が軌道に乗るようにマネジメントしていくことが私の使命だと考えています。

全ての職員の方々、地域の皆様のお力をお借りして、無駄のない効率的な経営を目指して、宮崎東病院の経営に貢献できるよう頑張りますので、どうぞご協力賜りますよう、宜しくおねがひいたします。



事務部長  
池間 忍



# 就任・着任のご挨拶～これからよろしくお願ひします～

## 呼吸器内科医長着任のご挨拶

宮崎県都城市に生まれ（昭和 44 年）、都城市祝吉小学校、私立日向学院中等・高等学校を経て、宮崎医科大学へ入学しました。平成 5 年に卒業し、当時の宮崎医科大学第 3 内科へ入局、大学病院にて卒後研修を行いました。以後は途中に大学院での学位取得を挟んで、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、済生会日向病院で呼吸器内科として勤務、平成 17 年から宮崎大学医学部附属病院へ戻りました。宮崎大学では 20 年ほど診療・教育・研究に携わり、この 4 月から当院へ異動となりました。

大学在籍時代からの活動で、県下のメディカルスタッフ有志と NPO 法人宮崎呼吸療法ネットワークを立ち上げ、3 学会合同呼吸療法認定士（日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会）資格更新を主な目的として年 2 回セミナーを開催しています。コロナ禍で活動自粛の時期もありましたが、WEB を活用したセミナーとして再開しました。以前から当院メディカルスタッフに方々にもセミナーへ参加いただいたこともあり、認定士資格の有無にかかわらず、興味のある方は参加ください。

当院へ赴任して、ほかのメディカルスタッフとの距離が近く、非常に働きやすいと感じます。これからよろしくお願ひ申し上げます。



呼吸器内科医長  
松元 信弘

## 呼吸器外科着任のご挨拶

このたび宮崎東病院呼吸器外科に赴任した森 浩貴と申します。卒後 10 年目医師になります。

出身は宮崎県です。宮崎大学を卒業後、県立日南病院で初期研修を修了しました。その後宮崎大学旧第二外科（現在大学は一外科、二外科が一緒になって外科学講座として成り立っています）に入局し、大学外科に 3 年間、県立延岡病院呼吸器外科に 4 年間従事させていただき、今年の 4 月からは東病院へ赴任させていただきました。

宮崎県は呼吸器外科医師数が他県と比較しても少ない状況があります。東病院では呼吸器内科の先生方も多く在籍している状況ですので、内科外科で綿密に連携しながらスムーズに診療にあたるのが可能です。肺癌と限らず、胸部の問題（気胸、胸水、胸郭異常、肺の異常な陰影など）であればぜひ対応させていただきたいと思いますので、地域の先生方におかれましてはいつでもお気軽に東病院にご紹介していただければと思います。



呼吸器外科医師  
森 浩貴

# 退任のご挨拶～ありがとうございました～

## みなさまへご挨拶

令和4年5月で宮崎東病院を退任することになりました。令和2年4月に赴任して2年2ヶ月の間多くの場面で、患者さん、病院の医療スタッフに良くしていただきました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。在任中はコロナ感染症が蔓延し常に気を配りながらの勤務だったことが印象に残っています。入院の患者さんでは状態の悪い人の担当になると、自宅に帰宅後も落ち着かずに病院からの連絡がないように心配していたこともありました。

患者さんには可能な限り話をして納得していただいて、前向きになるように心がけてきました。医療が進歩していることは確かですが、患者さんが健康に対する意識を持っていただくことや生活習慣を変えたりすることだけでも、ある程度病気を予防できると考えています。患者さんには宮崎東病院を身近な存在にとらえていただき、わからないことがあれば当院の優秀なスタッフに相談してみると良いと思います。

6月から日向市の泉和会千代田病院に赴任することになりました。現在住んでいる宮崎市から引っ越しせず日向市まで通勤する予定です。またどこかで会えば声をかけてもらえると幸いです。ありがとうございました。



内科医師  
与那嶺 真一

## MRT「おしえて！みやざき」に出演して

この度、MRTの県政テレビ番組「おしえて！みやざき」の「クローズアップみやざき」のコーナーに、2階病棟スタッフと共に出演させていただきました。このコーナーでは、県政に関する旬な情報について紹介しており、今回当院は、新型コロナウイルス感染症患者さんの受け入れについて取材を受けました。

取材の中では、感染管理認定看護師の役割に関する説明や、アナウンサーへの個人防護具の着衣体験を行いました。着衣体験では、N95マスクの息苦しさや長袖ガウンの暑さを感じる声が聞かれました。また、実際に患者さんに対応する2階病棟スタッフより、患者さんと接する中での当初の不安や戸惑い、面会が難しい中での工夫したことなどを伝えていただきました。

今回の取材を通して、日頃から万全の感染対策を心掛けながら患者さんと関わっていることや、傍で看取ることができない状況での家族との関わりを視聴者へ伝えることができたのではないかと思います。また、自分だけでなく家族や友人など大切な人を守るためにも、日頃の感染対策がいかに大切か伝わっていると良いと感じます。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



感染管理認定看護師 あかね 上野 亜光

## 編集後記

2022年4月1日から、院長伊井敏彦先生、副院長石山雄一郎先生へと体制が変わりました。さらに呼吸器内科に松元信弘先生、呼吸器外科に森浩貴先生を迎え、強力な布陣となりました。また、ニュース宮崎東の編集スタッフも変わり、なお一層、目にも優しいものにとということで、紹介写真も自然体を重視してみました。近日ホームページ (<https://miyazakihigashi.hosp.go.jp/index.html>) も順次更新いたしますのでご来訪お願いいたします。先日 MRT 宮崎放送から当院の新型コロナ病棟に関する取材がありました。当院ホームページの2022年5月11日の新着情報から5月7日放送「クローズアップみやざきちょこっと！」へリンクしていますので是非ご覧ください。いまだコロナ治まらず、東ヨーロッパの状況等世情不安定ではありますが、順次話題を提供してまいりますので今後ともよろしく願いいたします。(Y.U)